

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策 第7弾

飯田市プレミアム割引券事業 実績報告書

産業建設部 商業・市街地活性化課

1 事業目的

新型コロナウイルス感染症拡大により、大きな影響を受けている飲食店や小売店などの市内事業者を応援するため、2種類の割引券を発行し個人の消費喚起を図るとともに、地域の支えあいによる事業者支援につなげ、地域内経済循環の下支えを促進する。

2 事業概要

(1) 発行内容

発行総額 約3億円 (3,000円×99,557セット)

<第1弾>テイクアウト割引券 (500円券×2枚)

<第2弾>ささえあい割引券 (500円券×4枚)

(2) 利用者

飯田市民全員 (令和3年2月5日現在で飯田市に住所を有する市民)

※40,204世帯 / 99,557人

(3) 利用方法

加盟店での利用時に1,000円の支払で500円の割引券が利用可能

<第1弾>テイクアウト割引券 (加盟店舗数: 325店舗)

利用方法: 市内飲食店でのテイクアウトまたは出前で利用可能

利用期間: 3月1日～4月30日

<第2弾>ささえあい割引券 (加盟店舗数: 1,039店舗 ※テイクアウト加盟店舗含む)

利用方法: 全店舗 (全業種) で利用可能

利用期間: 3月25日～6月30日

3 利用実績

(1) 利用枚数 (換金枚数) 484,371枚

(2) 利用金額 (換金額) 242,185,500円

(3) 利用率 (換金率) 82.4% ※受取済枚数から算出

飯田市プレミアム割引券 加盟店アンケート調査結果報告書

産業経済部 商業・市街地活性化課

本アンケート調査は、本年3月1日から6月30日の間に実施した「飯田市プレミアム割引券」の利用の実態について事業者の皆さんに対して調査をお願いしたものです。

この事業は、飯田市として初となる「割引券」方式を採用しただけでなく、有効期間の異なるテイクアウト券（飲食店限定）とささえあい券（全業種利用可）の2種類を発行し実施したことによる、地域経済及び事業所への影響や効果を把握することに加え、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ感染症」という。）が与えた事業所への影響を把握し、今後の経済対策などを検討するための参考とすることを目的に実施しました。

1 調査概要

(1) 調査対象事業者

全加盟店 1,039 店舗

(2) 調査方法

全加盟店に郵送配布、郵送・FAX・フォームにて回収

(3) 回答期間

6月30日から7月20日

(4) 回収状況

回答数：390 店舗 回答率：37.5%

2 集計結果の概要

- ◎ 割引券の取扱いについては、約80%の事業者から「扱いやすかった」という回答を得ることができたことから、概ね順調に取扱いが行われたと考えます。
- ◎ 割引券の設定については、割引率を50%とし1,000円で500円の券が1枚利用できる方法で実施した結果、約半数以上の事業者から「適切だった」、「ちょうどいい」という回答を得ることができました。また、買い物時の計算が簡単だったという声もあり利用しやすい設定だったと考えます。
- ◎ 売上への影響については、売上が上がった事業者は約47%、変わらなかった事業者は約51%、下がった事業者は約2%という結果から、概ね半数の事業者の売上に貢献できたのではないかと考えます。「売上が上がった」と回答した約47%のうち飲食業が約28%、小売業が約15%でした。「変わらなかった」と回答した約51%のうち小売業が約23%、その他事業者が約18%、飲食業が約9%でした。
- ◎ 利用期間については、「ちょうどいい」という回答をテイクアウト券に対して約53%、ささえあい券に対して約79%の回答を得ていることから、概ね適切な利用期間だったと考えます。加えて、ささえあい券は全業種に利用でき、利用期間が6月30日まででした。そのため、約68%の飲食業で「ささえあい券でのテイクアウト利用があった」と回答しており、テイクアウト券の利用期間が過ぎても飲食業へのプラスアルファの効果があったと考えます。
- ◎ 割引券利用促進への周知については、市公式ウェブサイトや新聞広告、フリーペーパーなどのメディアを活用し周知したことに加え、各事業者へポスターの掲示もお願いしました。また、約64%の

事業者が独自にインターネットなどを通じて情報発信を行い利用促進に取り組んでいただきました。

一方では、支払時に利用方法などを説明したという声もあったため、レジ付近に小さなチラシのようなものを配置することで、さらなる周知や利用促進を見込めたのではないかと考えます。

- ◎ 自由記述いただいた意見では、「使い方が難しかった」、「商品券の方がよかった」、「コロナ禍での接触が気になった」などの事業に関する声や、「キャッシュレス決済にも対応できる仕組みづくりを」などのデジタル化に関する声があったことから、使いやすさに配慮した仕組みについて研究する必要があります。

3 各設問に対する回答の詳細結果

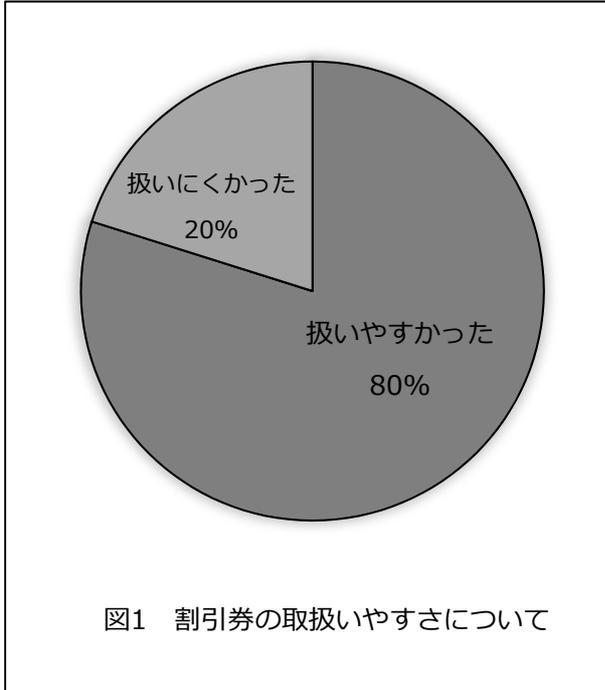
(1) 回答構成

業種別	回答数
小売業	150
飲食業	146
理美容業	25
製造業	3
卸売業	3
サービス業	25
農林業	1
旅行業	3
宿泊業	3
建設業	1
療術業	5
フィットネスクラブ	2
運送業	3
観光業	1
リサイクル業	1
情報通信業	2
窯業	1
販売業	2
教育・学習支援業	1
娯楽業	5
設備工事業	1
冠婚葬祭業	2
医療業	2

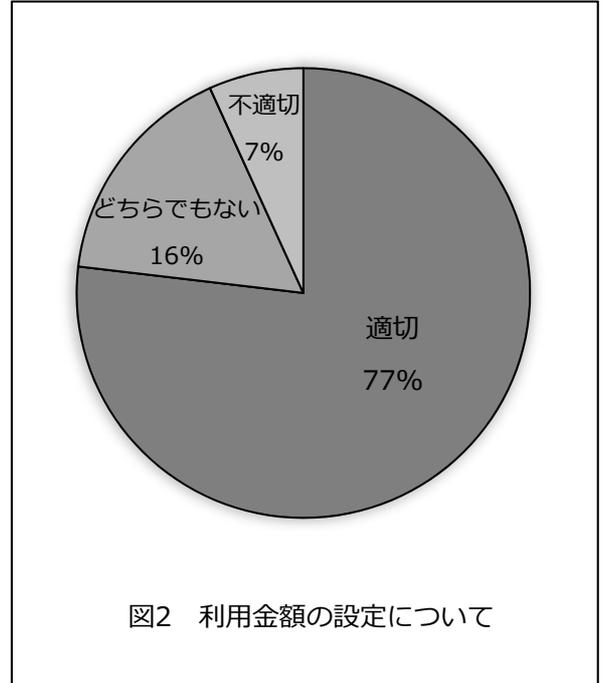
地区別	回答数
橋北	22
橋南	71
羽場	14
丸山	4
東野	16
座光寺	21
松尾	28
下久堅	4
上久堅	2
千代	3
龍江	6
竜丘	21
川路	10
三穂	2
山本	9
伊賀良	40
鼎	56
上郷	33
上村	3
南信濃	6
市内	19

(2) 割引券事業についての回答

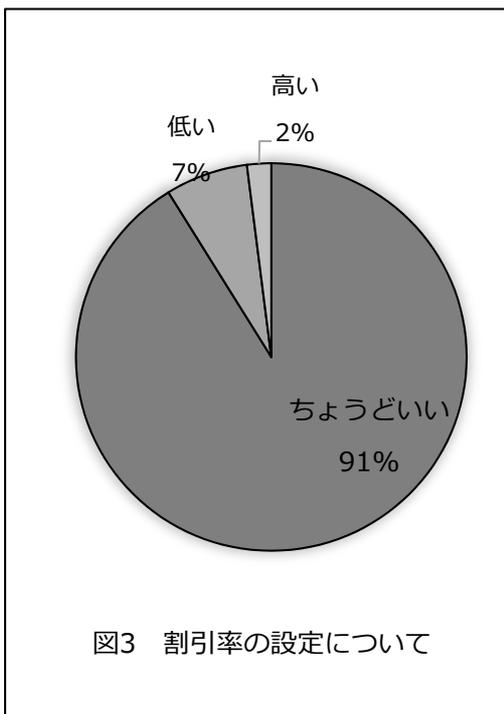
①今回初めて割引券という形式で消費喚起業を実施しましたが、会計時の対応や換金方法など取扱い方法はいかがでしたか。



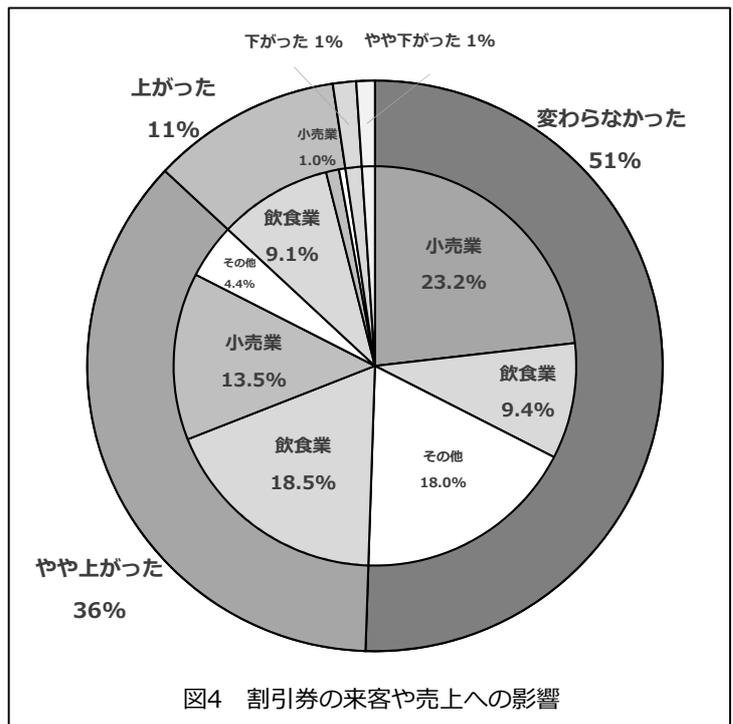
②今回の割引券は、千円以上で500円の割引券が利用できるという方法でしたが、利用設定金額は適切だったと思いますか。



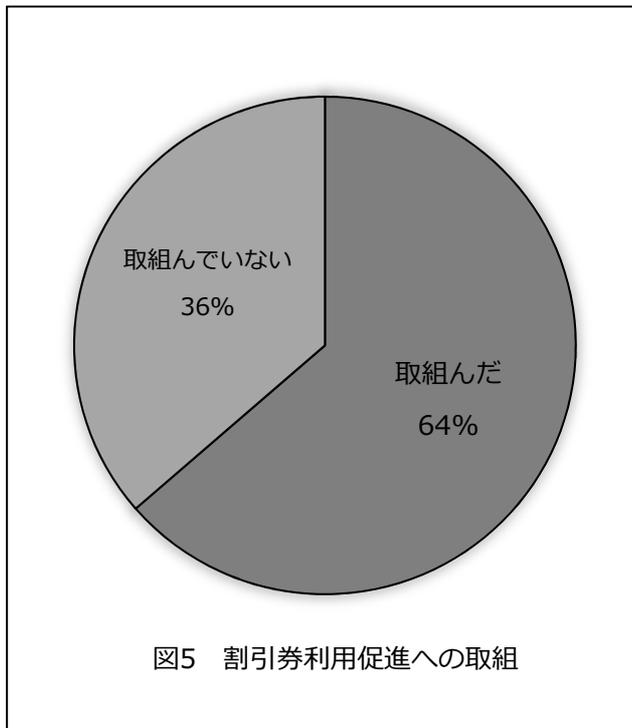
③今回、割引券の割引率を50%としましたが、割引率の設定はいかがでしたか。



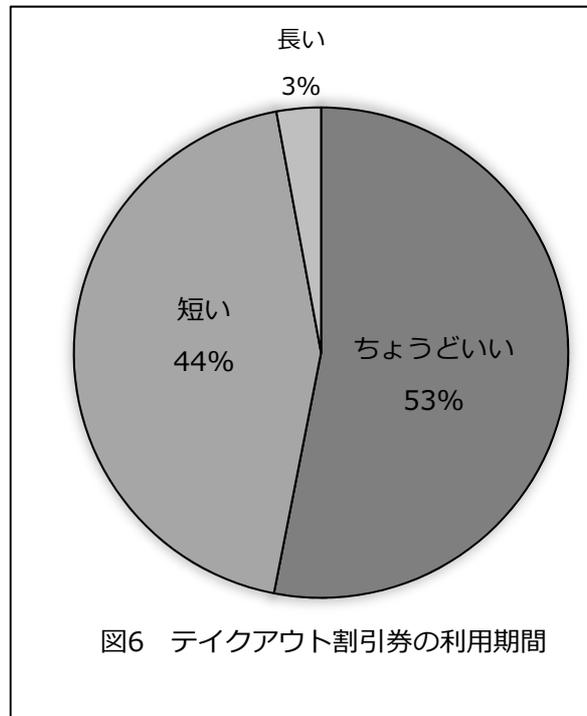
④割引券を扱う前と後で来客や売上に影響がありましたか。



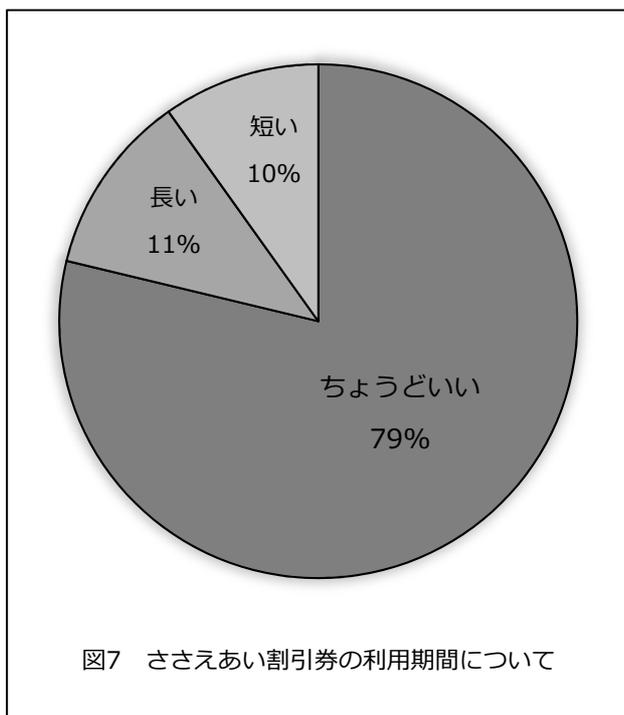
⑤割引券を利用してもらうために、店舗独自のポスターやチラシなどの作成、会計時に声をかけるなどの割引券利用の促進に取り組みましたか。



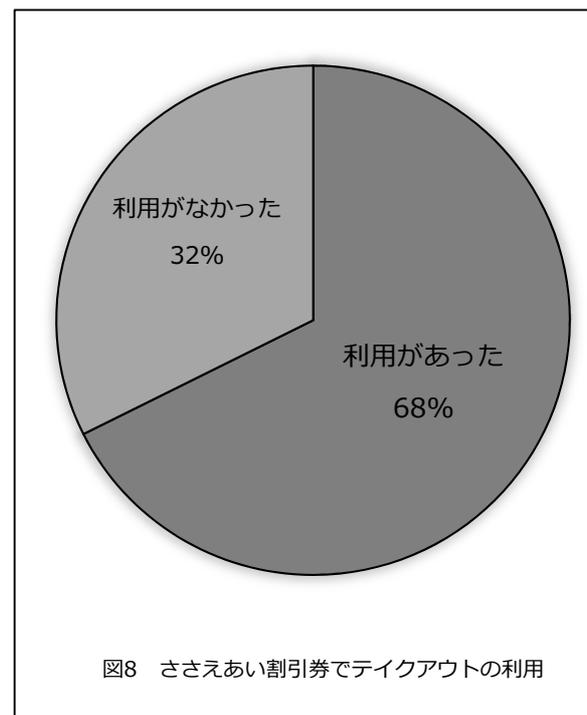
⑥テイクアウト割引券の利用期間はいかがでしたか。(3月1日～4月30日まで)



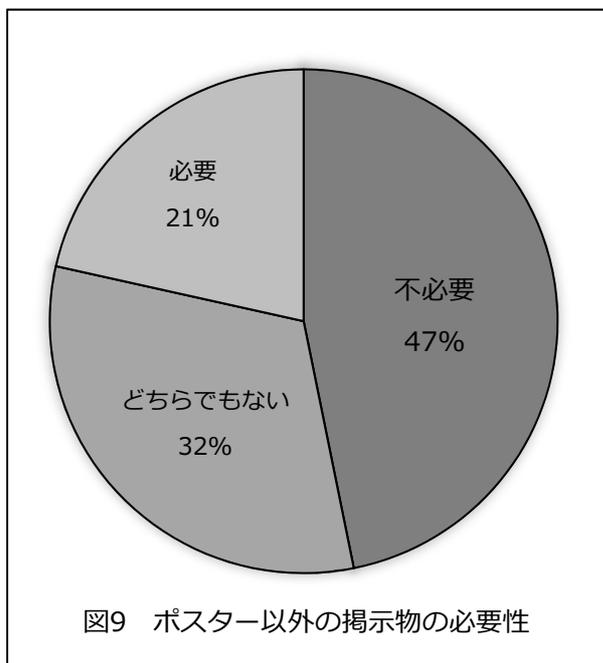
⑦ささえあい割引券の利用期間はいかがでしたか。(3月25日～6月30日まで)



⑧テイクアウト割引券の利用期間が過ぎた後、ささえあい割引券でのテイクアウトの利用はありましたか。



- ⑨ 「割引券加盟店」であることが分かるように、目印としてポスターを掲示していただきましたが、ポスター以外にも目印となるようなものが必要ですか。



- ⑩ ⑨までの設問以外に、プレミアム割引券事業についてご意見・ご感想などありますか。

【割引券事業について】

- ・キャッシュレス決済の際には使いにくいので、キャッシュレスにも適合した仕組みもあるといい。
- ・公式アプリやLINEなどを利用してクーポン配布や利用ができたらいい。
- ・コロナ禍の中、紙媒体での取り扱いが不安だった。(接触がある)
- ・必要な人に販売する形の方がいい。
- ・Go To Eat を利用するお客様の方が多かった。

【利用方法について】

- ・使い方が難しいとか金額分使いたいという声が多かった。
- ・普通に使える金券ならもっと使いやすかった。皆さん使いきれなくて困っていた。
- ・交通手段がない高齢者には使いづらい。
- ・加盟店一覧は、HP上だけだったので、利用者の目に届いていない。
- ・換金をもっとスムーズにできるようにしてほしい。(ウェブで換金依頼できるとか)